

## 新製品・新技術特集の 発刊に際して

取締役執行役員  
技術本部長

青木 素直  
Sunao Aoki



新製品・新技術特集の発刊にあたり、技術本部長として一言ご挨拶申し上げます。

現在のグローバル市場は大きく・速く変化しており、当社が得意として来た受注品型ビジネスモデルも大きな変革を迫られています。日本の代表的製造業の一つとして、厳しい事業環境でも高収益を維持できる強固な事業基盤を構築するため、従来の“待ち”の姿勢の企業DNAを進化させ、“先読みと攻め”の新しい受注品型ビジネスモデルへの転換を進めています。

新製品・新事業の創出においては、当社の4つの事業分野（発電分野、輸送・防衛分野、環境・社会分野、産業基盤分野）で“技術者の意向を優先した商品企画”から、“市場で何が売れるのか？お客様は当社に何を期待されているのか？高い収益を獲得できるのか？他社より早く市場投入できるか？”などを十分比較検討した商品企画に進化させています。

次に、新製品・新事業開発の最も重要な点は“お客様が抱える問題”の発掘とその解決です。当社が保有する幅広く、高度な技術が有効な武器となります。将来技術についても、まず将来の市場で必要とされる製品を検討し、それに適した技術を選択、計画的に開発するタグチメソッドの思想に沿った取り組みを行います。このような取り組みにより、市場でダントツの製品を創出して、“社会・顧客・株主・社員が満足する製品の開発と販売で社会に貢献する三菱重工”を実現したいと考えております。

本号では、近年の成果の一端として24件の新製品・新技術を紹介します。

まず、当社の4つの事業分野の中心となります Power & Energy（発電分野）では、世界で初めて短工期・低被ばくで行ったPWR炉内構造物の取替工事や、本年横浜に建設しました2400kW機用の風車の40mを超える翼をVaRTM（真空含浸工法）で作成する大型複合材製造技術を紹介します。

また、Transportation & Security（輸送・防衛分野）では、水深4000mの海底を掘る地球深部探査船“ちきゅう”や、国内初の独立車輪方式で高齢化社会のニーズに応えた100%低床LRVを、Environment & Society（環境・社会分野）では、国内で初めて顧客の敷地内（オンサイト）で実施したPCB汚染土壌処理の事業化への取り組みや、マンションなど鉄筋コンクリートの建物の耐震補強する制震ダンパなどを紹介します。

最後の、Industries（産業基盤分野）では、印刷業界の夢であった1台の機械で印刷幅の異なる印刷物を連続紙に無駄なく印刷するオフセット輪転機や、高効率・低コストを可能にする常温での接合を世界で初めて産業レベルで実現したウェーハ常温接合装置を紹介します。

最後になりましたが、1964年以来42年間に渡り印刷・発行してまいりました“三菱重工技報”は、本号から電子ジャーナルへと移行しました。人々の安全で豊かな生活に貢献する製品・技術を、タイムリーに、判りやすくお伝えすることを目指します。今後は、ホームページを介して読者の皆様方のご意見・ご要望をお聞きしながら更に進化させていきたいと考えておりますので、従来同様“三菱重工技報”をご愛読下さいますようお願いいたします。

今後ともご指導・ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。